

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)	内線	3722	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	5 ・医療・福祉を充実させます ・地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要援護者等への地域福祉体制を整備します。
	款				3	民生費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	高根支所 地域振興課				項	1	社会福祉費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	420 千円			
	目	3	老人福祉費	D	その他事業									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	どうしたいのか (意図)	地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画の促進	概要	事業の実施手法(手段)	高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、高齢者の生きがいと健康づくり、福祉の向上のために助成することにより、各種活動の育成、支援を行う。
	対象者数	10,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		・市連合長寿会に対して、事務局人件費を助成。						
成果面	活動指標	連合長寿会会員数	人	目標値	10,500	10,500	10,000	10,000
		実績値	10,405	9,796				
	算出根拠等		達成率(%)	99	93			
	活動指標	連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	150	150	143	139
		実績値	150	143				
	算出根拠等		達成率(%)	100	95			
	活動指標	連合長寿会加入率	%	目標値	42	43	40	40
		実績値	42	39				
	算出根拠等	連合長寿会加入者数/65歳以上人口	達成率(%)	99	91			
	活動指標			目標値				
		実績値						
	算出根拠等		達成率(%)					
	活動指標			目標値				
		実績値						
	算出根拠等		達成率(%)					
	成果指標			目標値				
実績値								
算出根拠等		達成率(%)						
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・新規加入者が少なく、連合長寿会会員の減・単位クラブの減が課題となっている。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりを深めながら、連合長寿会への加入メリットを生かした活発な活動に向けた取り組みが必要である。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	・老人クラブ活動費補助金(31336事業)との一本化を図る。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	420	420	420	420
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,884	5,185	5,753	5,753
	受益者 高根区会員(4月1日現在)	(B)	86	81	73	73

5 予算編成(Action2)

事業内容	・高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブの各種活動の育成、支援を行うため、その事務局人件費の助成を行う。	要求のポイント	・各区老人クラブ事務局人件費	事業実施の課題	・地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般予算(31336事業 老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。 ・支所地域の老人クラブへの補助は人件費を補助対象としているため、早急に高山地域と同条件となるよう調整し、一般予算化の検討が必要である。	高年介護課 地域政策課
------	--	---------	----------------	---------	--	----------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	420	420	0	420	420	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	280	280	0	280	280		
その他			0				
一般財源	140	140	0	140	140		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	61199	地域活性化施設振興事業	内線	3710	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	2 商工業・地場産業をさらに発展させます ◎景気回復を最重要課題として取り組みます
	○					B 一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	高根支所 地域振興課	会計	1	一般会計	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	6,340	千円		
			6	商工費		D					
			項	商工費							
			目	商工振興費							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	どうしたいのか(意図)	道の駅飛騨たかね工房は、地域の情報発信及び特産品の直売所としてだけでなく、地域の活性化施設として重要な位置づけとなる施設であるが、年間を通じた安定した集客が困難であるため、施設の運営が非常に厳しい状況にある。よって、施設の安定した運営のため、業務委託料を支出するもの。	概要	事業の実施手法(手段)	道の駅飛騨たかね工房の安定した運営のため業務委託料を支出するもの。
	対象者数	417人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	道の駅飛騨たかね工房業務委託料 6,340千円						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	年間営業日数	日	目標値	309	310	309	310
	実績値		309	310			
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
成果指標	年間入り込み客数	人	目標値	65,200	61,500	61,500	61,500
	実績値		55,701	55,814			
	算出根拠等	道の駅年間入込客数(観光動態調査)	達成率(%)	85	91		
成果面			目標値				
	実績値						
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	実績値						
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	実績値						
	算出根拠等		達成率(%)				
補足	・H24より特産品の販売に力を入れて実施している。						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・地域の特産品開発、販売の拠点機能を持つ道の駅は、ほかに類似する施設がなく、施設自体は今後も継続していく必要があるが、地域振興特別予算の業務委託料が無くて、経営の黒字化により事業者が自己費用で運営可能となるような取組みが必要である。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地場野菜の販売の拡充を実施。 ・手打ちそばや定食の販売開始など、魅力あるメニューへの取り組み。 ・効率的なパート利用の実施など人件費の削減。 	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の個性を活かした地場産品の物販・観光の拠点施設であるが、採算面で厳しさが増しており、今後のあり方などについて検討する必要がある。
	○維持・改善	
拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の個性を活かした地場産品の物販・観光の拠点施設であるが、採算面で厳しさが増しており、今後のあり方などについて検討する必要がある。 	
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 6,340	6,340	6,340	6,340
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 114	114	103	103
	受益者 年間入り込み客	(B) 55,701	55,814	61,500	61,500

5 予算編成(Action2)

事業内容	道の駅飛騨たかね工房管理業務委託	要求のポイント	事業実施の課題	商工課	赤字施設であるため、経営改善及び施設の方向性の検討が必要である。
				地域政策課	事業者が自己費用で運営可能となるような取組みが必要である。地域振興特別予算終了後を見据えた方針の策定が必要である。

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	6,340	6,340	0	6,340	6,340	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	6,340	6,340	0	6,340	6,340		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72199	地域道路橋りょう管理振興事業費 (市道未登記用地測量事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
	種別			款	7	土木費		○	B			
担当課	高根支所 基盤産業課	内線 3742	項	2	道路橋りょう費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	5,000	千円	
				目	1	道路橋りょう総務費		D				その他事業

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根地域の住民	どうしたい のか (意図)	概要	事業の実施 手法(手段)	市道未登記箇所の測量を行い、所有者から寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。
	対象者数	417 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	市道開拓6号線、池ヶ洞線、黍生線		調査延長 750m (6筆)	登記済 10m (1筆)				
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	調査測量済み路線延長	m	目標値	400	800	500	500
				実績値	300	750		
	算出根拠等		未登記路線実績調査	達成率(%)	75	94		
	活動 指標	分筆登記済み路線延長	m	目標値	100	400	400	400
				実績値	100	10		
	算出根拠等		未登記路線実績調査	達成率(%)	100	3		
	成果 指標	未登記整備進捗率	%	目標値	4	5	6	5
				実績値	4	4		
	算出根拠等		分筆登記済路線延長累計/未登記路線延長(27,244m)	達成率(%)	91	73		
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
算出根拠等			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足	調査延長は伸びるものの、登記までには所有者の確認等作業が難航し、進捗率は低い状態である。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	世代交代により、地権者の了解を得るのに時間を要する。
---------------------	----------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	地元町内会の協力を得ながら所有者の確認をし、着実に進めていく。	
次年度 の実施 方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	重要路線の未登記処理は、今後も継続していく必要がある。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了できるよう積極的に取り組んでいく必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,957	4,997	5,000	6,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,111	11,055	11,990	14,388
	受益者	4/1現在高根町住民	(B)	476	452	417

5 予算編成(Action2)

事業内容	市道未登記用地の調査、測量、登記	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	支 所	世代交代により地権者の了解を得るのに時間を要する。	維持 課	世代交代が進んでいくため、早めに地権者の承諾を得て、未登記路線の解消を進めること。
						地域 政 策 課	積極的に事業を推進すること

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,000	6,000	1,000	6,000	6,000	要求どおり	財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	5,000	6,000	1,000	6,000	6,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94199	花いっぱい運動推進事業	予 算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公 約	4	個人・家庭・地域を大切にすることを社会を築きます。 ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。
	款			9	教育費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	高根支所 地域振興課	内線	3710	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	800 千円			
				目	1	社会教育総務費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	どうしたいのか (意図)	・高根地域独特の自然環境を活かした山野草を植栽することで、地域を花で飾り、観光客へのイメージアップと住民の地域への愛着心を高揚させる。	概要	事業の実施 手法(手段)	・花いっぱい用花苗の購入 ・花壇の整備・管理、花苗の植栽等を高山市シルバー人材センターへ委託
	対象者数	417 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・山野草花苗購入	285千円						
	・花壇維持管理業務	475千円						
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	花いっぱい用花壇の整備箇所数	箇所	目標値	11	11	11	11
				実績値	11	11		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	成果 指標	花を楽しむことのできる期間	月	目標値	3	3	3	3
				実績値	3	3		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	成果 指標	中学校の郷土学習	学年	目標値			1	1
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
	成果 指標			目標値				
				実績値				
算出根拠等				達成率(%)				
成果 指標			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補 足	平成24年度から山野草について、朝日小学校3年生の郷土学習の授業に取り上げられ、山野草への子どもたちの愛着心高揚の一つとなった。 ・国道361号線を通る山野草ファンも多く車を止めてカメラを構えたり、散策している姿が多くみられる。		目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・多年草である山野草が定着したあとは、苗の購入は少なくなるが、花壇の管理業務は必要であり、管理体制の検討が必要。 ・郷土学習の一環として管理業務の作業に参加しセンター会員と小学生とがふれあい、学び、またセンター会員は子どもたちから元気をもらえるようなコミュニケーションづくりの場としていけないが学校側との検討が必要ではある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・山野草が定植するよう維持管理を行い、また不足する部分について補植等の実施。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・高根地域独特の自然環境を活かした山野草を植栽することで、地域を花で飾り、観光客へのイメージアップと住民の地域への愛着心を高揚させる事業であり、今後も継続する。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	791	760	800	950
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	32	37	35	41
	受益者	7~9月の道の駅利用者	(B)	24,969	20,816	23,000

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	・山野草(多年草)の植栽に必要な苗の購入 ・町内会等での管理が困難な沿道の花壇であることから、花壇の適正な管理(補植、猪被害花壇整地)を行うための管理業務委託費	要 求 の ポ イ ン ト	花壇の維持管理また山野草が定植するように補植(苗購入)及び管理業務を実施 猪被害があった花壇の修復による増	事業 実 施 の 課 題	多年草である山野草が定着しつつあるところであるが、近年猪による花壇掘削の被害が頻繁にあり花壇が荒らされている状態である。山野草の種類の検討が必要と思われる。また、花壇の管理業務については猪等からの被害も含め山野草定着後も業務の継続は必要である。	市民 活 動 推 進 課	地域社会教育事業は、花いっぱい運動に係る経費として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。予算措置の内容は、管理委託や花苗等の配付等、地域によって異なっている。 現在、市民憲章推進協議会が実施している花いっぱい運動に対する助成等類似事業との関係を整理しているところであり、当面、当該事業を継続するなかで、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
						地 域 政 策 課	同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		800	950	150	800	800	・計画額どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	800	950	150	800	800		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	地域文化振興事業	内線	3710	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにつながる芸術文化活動をさらに浸透させていく。
	○					B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
款	9	教育費	項	4	社会教育費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業					
目	6	文化振興費	目	6	文化振興費	D	その他事業					
担当課	高根支所 地域振興課											

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根地域住民	どうしたいのか(意図)	・文化芸能祭を通して、地域の伝統・文化を再認識し、地域への愛着、郷土意識を高めることができる。 ・地域の文化振興と地域コミュニティの推進を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・高根地域の文化芸能祭の運営費を社会教育推進協議会へ補助する。
	対象者数	417 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・高根地域の文化芸能祭の運営費を社会教育推進協議会へ補助。						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	高根地区文化祭の開催回数	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1		
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
	高根地区文化祭の参加人数	人	目標値	200	200	200	200
			実績値	200	200		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
成果面			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・事業内容見直しと今後の補助に対する検討が必要。
-----------------	--------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・補助金の有効活用のため、社会教育推進委員会に対する助言等の実施
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	<p>・この事業は、高根の住民の心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、住民の参加率も高く、高根の住民が集う場所でもあるので引き続き継続する。</p> <p>・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。</p> <p>・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。</p>

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	150	150	150
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	315	332	360
	受益者	高根地域住民 (B)	476	452	417

5 予算編成(Action2)

事業内容	・高根地域の文化芸能祭に対する助成	要求のポイント	・高根地域の文化芸能祭を継続するための経費を計上	事業実施の課題	・より効果的な事業となるよう、内容の見直しと財源確保を含めた支援策の検討が必要である。 ・同上	・地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されているが、地域によって、内容・実施主体・助成割合等が異なっているため、一定のルール化について検討する必要がある。 ・また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。
------	-------------------	---------	--------------------------	---------	--	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	150	150	0	150	150	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	150	150	0	150	150		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	地域スポーツ振興事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
	款			9	教育費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	高根支所 地域振興課	内線 3710	項	5	保健体育費	目	1	体育施設費	H25計画額	400	千円	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	どうしたい のか (意図)	各軽スポーツを通して、地域の連携と健康増進を高めることができる。 地域のスポーツ振興と地域コミュニティの推進を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	高根地域の軽スポーツ大会、ふれあい運動会の運営費を社会教育推進委員会へ補助する。
	対象者数	417 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	高根地域のスポーツ振興事業を運営する社会教育推進協議会へ補助。						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	軽スポーツ交流大会等の開催回数	回	目標値 実績値	5 5	5 5	5 5	5 5
成果 指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
	高根地区軽スポーツ大会等参加者数	人	目標値 実績値	360 360	360 360	360 360	360 360
成果 面	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
			目標値 実績値				
成果 面	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値 実績値				
成果 面	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値 実績値				
成果 面	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値 実績値				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
	軽スポーツ交流により高根地域の住民が集い、マンネリ化した生活や心に潤いを醸し出すとともに、地域の連帯感を高め住民の健康・体力の向上と維持、生きがいづくりの場となっている。						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	高根地域住民が集う場で参加率も高い事業ではあるが、少子高齢化に伴う事業内容見直しと、今後の補助に対する検討が必要。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	補助金の有効活用のため、社会教育推進委員会に対する助言等の実施	
次年度 の実施 方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	高根の住民の心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、住民の参加率も高く、高根の住民が集う場所でもあるので引き続き継続する。
	○ 二次評価 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	400	400	400	400
受 益 者	受益者1件当たり(円)	(A/B)	840	885	959	959
	高根支所地域全住民	(B)	476	452	417	417

5 予算編成(Action2)

事業内容	高根地域の軽スポーツ大会、ふれあい運動会等の運営に対する助成	要求の ポイント	地域のスポーツ振興と地域のコミュニティの推進を図るため前年同額	事業 実施 の 課題	支所 地域の高齢化と人口の減少する中、参加者・役員等の招集もままならない状況ではあるが、参加・協力していただけるよう工夫をする必要がある。	ス ポ ー ツ 推 進 課	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
地域 政 策 課	同上						

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		400	400	0	400	400	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	400	400	0	400	400		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20899	遊休施設解体事業	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市 長 公 約	10 市民のための行政改革を実施します ◎将来を見据えて今必要な行政改革をすぐに断行します ・市の施設や支所の改修利用を進めるほか、遊休施設・土地などの有効活用を行います
番付				款	2 総務費		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	高根支所地域振興課	内線	3710	項	1 総務管理費	O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円	
				目	8 財産管理費		D その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	どうしたい のか (意図)	使用されていない構築物、建物等の処分	概要	事業の実施 手法(手段)	不要構築物、建物等の処分解体
	対象者数	417 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
成果面	活動指標	遊休施設解体処分	件	目標値				4
				実績値				
	算出根拠等	解体件数		達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況		
次年度の実 施方針	二次評価	維持・改善
		拡大
	一次評価	縮小
		廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
歳出(千円)	(A)	0	0	0	10,710
受益者1件当たり(円)	(A/B)	0	0	0	7,434
受益者	高根支所地域住民 (B)	476	452	417	417

5 予算編成(Action2)

事業内容	遊休施設解体処分 ○野麦峠(木魂の森)野営場・・・バンガロー 3棟、東屋 1棟、炊事場 1棟 ○阿多野郷南乗鞍休養地・・・トイレ 1棟 ○温室・・・2棟 ○旧日和田保育所	要求の ポイント	合併時点で既に使用されていなかった不要施設及び利活用計画の無い施設の撤去	事業 実施 の 課題	支所	管 財 課	景観保全や安全対策等のため解体すべきと考える。 なお、敷地について、市有地については有効活用の検討が必要、借地については返還に向け地権者と調整を行う必要がある。
						地 域 政 策 課	同上

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	0	10,710	10,710	10,063	10,063	・積算内容を精査	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	0	10,710	10,710	10,063	10,063		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	51399	地域特産品ブランド化振興事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市 長 公 約	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ・飛騨高山のブランドにふさわしい、生産者の顔がみえる安全で安心な付 加価値の高い産地産品づくりに取り組みます。		
種別				款	5	農林水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	高根支所 基盤産業課			内線	1	農業費		○ C	終期を定めて実施する事業・単年度事業					H25計画額	千円
				3741	目	3		農業振興費	D						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	農家	どうしたい のか (意図)	地域畜産農家の堆肥を有効活用し、農地の地力を上げることで、低農業による「安心・安全」な農業生産を目指し、農作物のブランド化による農業所得の向上を図るため、簡易コンポストを建設する。	概要	事業の実施 手法(手段)	簡易コンポスト建設に対する助成
	対象者数	12 戸					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	簡易コンポスト建設 1棟(留之原地区) (地域特産品ブランド化振興事業)							
成果 指 標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指 標	野菜生産組合対象戸数	戸	目標値		12		12
				実績値		11		
				算出根拠等		達成率(%)	92	
	活動 指 標	堆肥利用農家戸数	戸	目標値		12		12
				実績値		11		
				算出根拠等		達成率(%)	92	
	成果 指 標	野菜(ほうれんそう)の出荷量	ケース	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000
				実績値	25,200	23,000		
				算出根拠等	飛騨農協調べ	達成率(%)	126	115
	成果 指 標	野菜(ほうれんそう)の販売額	千円	目標値	50,000	50,000	50,000	50,000
				実績値	63,000	54,000		
				算出根拠等	飛騨農協調べ	達成率(%)	126	108
				目標値				
			実績値					
			算出根拠等		達成率(%)			
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等		達成率(%)			
補足	H24.9末 販売額 31,000千円 販売量 14,200ケース							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	
担当課評価	○ 維持・改善
次年度の実施方針	拡大
	縮小
	廃止検討
二次評価	維持・改善
	拡大
	縮小
	廃止検討

H23事業にて完了予定であったが、黍生地区から要望がありH25事業として対応する。

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	1,440	0	2,200
	受益者1件当たり(円)	(A/B)		130,909		183,333
	受益者	野菜生産組合	(B)		11	12

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域の畜産農家の堆肥を有効活用し、農地の地力を上げるとともに、低農業による「安心・安全」な農業生産を目指し、農作物のブランド化を図るための助成	要求の ポイ ント	・簡易コンポスト建設への助成	事業 実 施 の 課 題	支 所	農 務 課	・質のよい地域の特産品を生産し、ブランド化を図るために有効である。
						地 域 政 策 課	・畜産農家の堆肥の有効活用については、全市的な検討が必要である。

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,200	2,200	2,200	2,200	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源		2,200	2,200	2,200	2,200		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	51399	生活環境保全対策事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市 長 公 約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ・有害鳥獣対策が緊急の課題であるため、駆除と防衛事業を強化し、活用方策について具体的に取り組みます。		
種別				款	5	農林水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	高根支所 基盤産業課			内線	1	農業費		○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業			H25計画額	千円
				3741	目	3		農業振興費	D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根地域の住民	どうしたい のか (意図)	・有害鳥獣による被害を防止するため、集落の周囲に進入防止柵を設置し、安心して暮らせる地域づくりを目指す。	概要	事業の実施 手法(手段)	・有害鳥獣侵入防止柵等の設置に対する助成
	対象者数	417 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・日和田町内会が実施した簡易獣害防止柵設置に対する助成 ・留之原町内会が実施した簡易獣害防止柵(電柵)設置に対する助成							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	施工延長	m	目標値	35,000	35,000	35,000	
		実績値	13,267	21,367				
	算出根拠等 事業計画、実績			達成率(%)	38	61		
	活動指標	事業実施箇所数	地区	目標値	2	2	2	
		実績値	2	2				
	算出根拠等 補助金交付申請書			達成率(%)	100	100		
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	本事業の実施は、地域住民の生活環境を保全する上で有効な施策であり、その効果も大である。 なお、イノシシ等による生活環境への被害を防止するため、防護柵等の設置をするものであるが、市道等には設置できないため、別の対策が必要となる。また、猿被害の防止は別途検討する必要がある。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・補助金の交付希望のあった町内会から対応しているが、予算の都合により一部翌年度対応する。 ・新規希望については、現在町内会と調整中である。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	町内会と調整の上実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	・鳥獣被害は深刻な問題であり、早急に対応する必要がある。 ・一般予算とのバランスに配慮し実施する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 7,968	7,000	7,000	
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 16,739	15,487	16,787	
	受益者	4/1現在高根町住民 (B)	476	452	417

5 予算編成(Action2)

事業内容	里山と農地の間に緩衝地帯を整備 ・留之原地区、10m×3,000m	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	・イノシシ等による畑作被害を防止するため、防護柵の設置をするものであるが、市道等には設置できないため、別の対策が必要となる。 また、猿被害の防止は別途検討する必要がある。	農務課 ・国庫事業「鳥獣被害防止総合対策事業」においての実施も検討する必要がある。 地域政策課 ・鳥獣害は全市的な問題のため、市全体の取組方針のもとで対応することが必要である。
------	--------------------------------------	-------------	---------------------	--	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	7,000		△ 7,000	4,300	4,300	・一般予算での要求があったが、地域固有の整備であるため地域振興特別予算で計上 ・財務部調整のとおり	
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	7,000		△ 7,000	4,300	4,300		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72199	道路照明施設環境整備事業 (廃止済街路灯撤去)	内線	3741	特別 予算の 位置 付け	会計 1 一般会計	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長公約
	款 7 土木費					B 一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	高根支所 基盤産業課		予算	目 1 道路橋りょう総務費	O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円	
						D その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び観光客	どうしたい のか (意図)	合併前の旧高根村において整備した道路照明(街路灯)のうち、合併後廃止した街路灯11基の撤去をし、道路環境整備を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	請負による。
	対象者数	417 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	無し							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	撤去街路灯	目標値	基					11
		実績値						
	算出根拠等			達成率(%)				
		目標値						
		実績値						
	算出根拠等			達成率(%)				
	成果 面		目標値					
			実績値					
	算出根拠等			達成率(%)				
			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
		目標値						
		実績値						
算出根拠等			達成率(%)					
補足		目標値						
		実績値						
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	平成25年度新規事業
---------------------	------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	
次年度 の実施 方針	維持・改善
	拡大
	縮小
	廃止検討
二次 評価	維持・改善
	拡大
	縮小
廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 0	0	0	846
	受益者1件当たり(円)	(A/B)			2,029
	受益者 高根町市民	(B) 0	0	0	417

5 予算編成(Action2)

事業 内容	廃止し放置されている道路照明(街路灯)の撤去	要求の ポイント	景観に配慮し、早急に撤去する。	事業 実施の 課題	支所	維持課	道路照明として、不要と判断されたものであり、道路景観保全のため撤去を行う。
						地域政策課	

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		0	846	846	1,000	1,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源		846	846	1,000	1,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域消防施設振興事業	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市 長 公 約	10 市民のための行政改革を実施します ◎将来を見据えて今必要な行政改革をすぐに断行します ・市の施設や支所の改修利用を進めるほか、遊休施設・土地などの有効活用を行います		
番付				款	8 消防費		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	高根支所地域振興課			内線	1 消防費		○ C 終期を定めて実施する事業・単年度事業				H25計画額	千円
				3710	目		3 消防施設費					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	どうしたい のか (意図)	使用されていない構築物の処分	概要	事業の実施 手法(手段)	不要構築物の処分解体
	対象者数	417 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
成果面	活動指標	撤去件数	件	目標値				2
				実績値				
		算出根拠等	達成率(%)					
					目標値			
					実績値			
		算出根拠等	達成率(%)					
					目標値			
					実績値			
		算出根拠等	達成率(%)					
					目標値			
					実績値			
		算出根拠等	達成率(%)					
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等	達成率(%)						
補足				目標値				
				実績値				
	算出根拠等	達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	
次年度の実 施方針	維持・改善
	拡大
	縮小
	廃止検討
	維持・改善
	縮小
二次評価	廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
歳出(千円)	(A)	0	0	0	300
受益者1件当たり(円)	(A/B)	0	0	0	719
受益者	(B)	0	0	0	417

5 予算編成(Action2)

事業内容	消防ホース乾燥塔撤去 2塔 現在、利用されていない中之宿及び猪之鼻地区にある消防ホース乾燥塔を撤去する。	要求の ポイント	各支所地域で対応する使用していない消防設備の撤去(高根地域分)	事業実施の 課題	支所	消防 総務 課	不要となった消防ホース乾燥塔等については、地域振興特別予算等を活用して、計画的に撤去していく必要がある。
						地域 政策 課	

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	0	300	300	300	300	要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
その他							
一般財源	0	300	300	300	300		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20899	地域財産管理事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
				款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	高根支所 地域振興課			項	1	総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業			
	内線 3710			目	8	財産管理費		D	その他事業			
								H25計画額	77 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	どうしたい のか (意図)	・市有地の適正管理	概要	事業の実施 手法(手段)	・市有地を含めた子ノ原高原の土地、道路等の適正な維持管理
	対象者数	417 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・市所有面積2,800坪に応じた負担金76,020円=(1,000坪×40円+1,800坪×18円)×1.05						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値	2,800	2,800	2,800
	財産管理面積	坪	実績値	2,800	2,800		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
成果 指標	当該財産の見回り点検	日	目標値	7	7	7	7
				実績値	7	7	
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
成果 面			目標値				
				実績値			
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
				実績値			
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
				実績値			
	算出根拠等		達成率(%)				
補 足			目標値				
				実績値			
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・財産を所有している限りは負担が必要であり、今後、有効活用が図られなければ、処分についての検討が必要である。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・他の未利用となっている市有地や施設等の売却等処分について、統一的な考え方の検討の実施。
次年度 の実施 方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 (担当課評価に同じ)
	・財産を所有している限りは負担が必要である。他の市有財産の処分等統一的な考え方にに基づき実施する。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	77	77	77
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	162	170	185
	受益者	高根支所地域全住民 (B)	476	452	417

5 予算編成(Action2)

事業内容	道路の維持補修・側溝維持管理等施設の適正な管理の実施	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	支 所	今後の利用計画がなく、売却を含めた有効利用を検討する必要がある。	管 財 課	市有地の有効活用(売却含む)を進める必要がある。
						地 域 政 策 課	同上

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	77	77	0	77	77	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	77	77	0	77	77		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (冬季高齢者住宅開設事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	5 医療福祉を充実させます ・在宅介護支援を含め、高齢者集合住宅の拡充施策に取り組みます。
	款			3	教育費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	高根支所 地域振興課	内線 3710	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	H25計画額	2,550 千円			
				3	老人福祉費		O	D		その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根地域住民	どうしたい のか (意図)	・空き施設の有効利用と高齢者が安心して暮らせる地域づくりをめざすことを目的とする。	概要	事業の実施 手法(手段)	・冬季高齢者住宅開設 開設期間 12月～翌3月 事業主体 高山市社会福祉協議会 旧学校教員住宅を使用 施設利用に伴う施設改修、維持管理費
	対象者数	417 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・建物管理経費	451千円						
	・トイレ等修繕費	2,140千円						
	・社協への補助金	1,800千円						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	冬季高齢者集合住宅開設月数	月	目標値	4	4	4	4
				実績値	4	4		
	算出根拠等			達成率(%)	100	100		
	成果指標	施設利用者数	人	目標値	17	17	17	18
				実績値	14	11		
	算出根拠等			達成率(%)	82	65		
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
補足	・成果、自宅だと積雪等により、運動量や地域住民との会話が無くなる中、利用者やボランティアと交流により体を動かし、また、会話を楽しむ中で健康が維持され安心感も得ている。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・冬季利用だけでなく、その他の季節の有効活用の検討や入居者の負担割合等について協議が必要である。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・運営補助金のあり方や冬季以外の季節での利用方法の検討。	
次年度の実 施方針	○維持・改善	・特に冬期間とじこもりがちとなる高齢者に「集団生活」による安心感を提供し、地域の高齢者への支援策として重要な事業であることから継続する。また、冬季以外の活用についても検討する。 (担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,770	4,391	2,530	2,150
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	197,857	399,182	148,824	119,444
	受益者 施設利用者	(B)	14	11	17	18

5 予算編成(Action2)

事業内容 冬季高齢者住宅施設 ・開設期間 12月～翌年3月 ・事業主体 高山市社会福祉協議会 ・旧学校教員住宅を使用 施設利用に伴う維持管理費	要求の ポイン ト ・冬季閉鎖的となる高齢者に「集団生活」による安心感を提供し、地域の高齢者への支援策として継続して実施する。 ・現状に合わせ、水道光熱費を減	事業 実施 の 課題 ・冬季以外の活用についての検討が必要	高 年 介 護 課 ・高根地域の特性により、高齢者の冬季生活の安定や健康保持のため、冬季高齢者住宅が必要。事業継続に向けての自主運営ができる体制づくりが必要となる。 地 域 政 策 課 ・冬季利用だけでなく、その他の季節の有効活用の検討や入居者の負担割合等、他の地域に波及するようなモデルとしての仕組みづくりが必要である。
---	---	---	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,530	2,150	△ 380	2,150	2,150	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	2,530	2,150	△ 380	2,150	2,150		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	42299	食廃油回収事業	内線	3710	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	豊かな自然を守り、環境モデル都市をつくります。 8 ・地域温暖化の対策、生物多様性の保全活用など、環境保全は今を生きている全ての人々が取り組まなければならない重要な問題であるため、バイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境改善につながる取り組みを支援します。
	B					一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	高根支所 地域振興課			2	2	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	60 千円		
	課長					D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	どうしたいのか(意図)	・使用済食用油を回収、精製処理し、リサイクル燃料として使用することにより、市民のリサイクル意識の向上を図るとともに、地域温暖化対策を推進する。	概要	事業の実施手法(手段)	・一般家庭より排出される食用廃油、月1回4箇所の資源ごみ拠点集積所で回収する。 ・回収した食用廃油は、朝日支所の処理施設で精製し、公用車の燃料(BDF)として活用する。
	対象者数	417 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・延べ12回開設 回収量790						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値	4	4	4
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				実績値	4	4	
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				実績値	100	100	100
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				実績値	96	79	
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				実績値	96	79	
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				実績値			
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				実績値			
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				実績値			
補足	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				実績値			

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・回収方法の検証を図る。
-----------------	--------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・事業の必要性を考慮しながら回収方法を隔月の検討する。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・事業の必要性を考慮しながら回収方法を隔月の実施に向けて検討する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・環境に対する効果、コスト面、精製処理した油の需要等を比較し、全市民的に事業の実施方針・規模について検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 36	37	50	30
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B) 76	82	120	72
	高根支所地域全住民	(B) 476	452	417	417

5 予算編成(Action2)

事業内容	・一般家庭より排出される食用廃油、年6回4箇所の資源ごみ拠点集積所で回収する。 ・回収した食用廃油は、朝日支所の処理施設で精製し、公用車の燃料(BDF)として活用する。	要求のポイント	事業実施の課題	生活環境課 ・食用廃油の利用拡大のための精製方法や、他の再利用方法がないか検討しながら事業を継続していく必要がある。 地域政策課 ・地球温暖化対策は様々な取組みが可能のため、将来性を含め事業を今後も推進すべきかどうかの検証が必要である。
------	---	---------	---------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	50	30	△ 20	30	30	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	50	30	△ 20	30	30		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	51399	ワークキャンプ活用事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ③次代につながる農業を実現します ・飛騨高山のブランドにふさわしい、生産者の顔がみえる安全で安心な付加価値の高い産地産品づくりに取り組みます。
	課			5	農林水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	高根支所 基盤産業課	内線	予算	1	農業費	O	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	100 千円		
				3742	3		農業振興費	D				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	タカネコーン生産組合	どうしたいのか(意図)	・タカネコーン生産組合が主催する「タカネコーン収穫祭」のスタッフとしてNPO法人NICEから受け入れし、人手不足の解消とブランド化の推進に資する。	概要	事業の実施手法(手段)	・NPO法人NICEへの負担金
	対象者数	30 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・NPO法人NICEへの負担金 50,943円 8/26~8/28 ワークキャンプ開催							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	NPO法人NICEへの負担金	千円	目標値	100	100	100	310
				実績値	98	51		
	算出根拠等		予算・決算額	達成率(%)	98	51		
	成果指標	タカネコーン販売額	千円	目標値	5,200	5,200	5,200	11,500
				実績値	5,200	1,715		
	算出根拠等		タカネコーン生産組合決算	達成率(%)	100	33		
	成果指標	タカネコーン販売数	千本	目標値	22	22	22	50
				実績値	22	7		
	算出根拠等		タカネコーン生産組合決算	達成率(%)	100	34		
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			達成率(%)				
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・地域の代表的な農産物であるタカネコーンのブランド力を維持していくため今後も継続していくことが理想であるが、生産組合の体制強化により組合独自の事業として移行する方向で検討する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・生産組合と今後の実施方針等調整する。	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・ブランド力の向上と生産組合の体制強化のため、当面継続する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・一時的なスタッフの確保に対する負担金支出であることから、ブランド強化のための別の方策を考える必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	98	51	100	310
受益者	1件当たり(円)	(A/B)	3,267	1,700	3,333	10,333
	生産組合構成農家	(B)	30	30	30	30

5 予算編成(Action2)

事業内容	・収穫祭等におけるスタッフを都市部から受入れ、地域の特産品であるタカネコーンを都市住民に広め、都市における認知度を高め、さらなるブランド化を図る。	要求の ポイント	・タカネコーン収穫祭等のスタッフ受入れに係る経費負担	事業 実施の 課題	支所 ・若者の受入、交流強化、地域活性化のため今後も継続してほしいと要望がある。	農務課 ・地域との交流だけでなく、地域の特産品を都市に広め、販路を拡大する機会としてワークキャンプを活用する。	地域 政策 課 ・タカネコーンをブランドとして定着させることは重要であるが、地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。
------	---	-------------	----------------------------	-----------------	---	--	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		100	310	210	100	100	・計画額どおり	・財務部調整のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	100	310	210	100	100		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	野麦峠における交流促進事業	内線	3710	特別 予算の 位置 付け	会計 1 一般会計	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市 長 公 約	積極的な観光振興策を実施します。 ・最新の媒体を駆使し、多様な誘客を行います。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
	款 6 商工費					B 一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	高根支所 地域振興課			2	1	項 2 観光費	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円		
						目 1 観光振興費	D その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	どうしたい のか (意図)	・女工哀史で全国的に知られる野麦峠を中心とした観光PRにより観光客の増加を図るとともに、隣接する松本市と野麦峠における交流を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 野麦峠まつり 映画「あゝ野麦峠」上映会 柳ヶ瀬物産展 野麦峠PRのため上記イベント経費の一部を負担。
	対象者数	417 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	野麦峠PRのため下記イベント経費の一部を負担 ・野麦峠まつり、映画「あゝ野麦峠」上映会、柳ヶ瀬物産展、野麦峠トレイルラン						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動 指標	イベント回数	回	目標値	2	4	3	2
			実績値	2	4		
算出根拠等			達成率(%)	100	100		
活動 指標	松本市との交流イベント回数	回	目標値	1	2	1	1
			実績値	1	2		
算出根拠等			達成率(%)	100	100		
成果 指標	野麦峠年間入込客数	千人	目標値	25,000	25,000	25,000	25,000
			実績値	23,376	20,705		
算出根拠等 野麦峠年間入込客数(観光動態調査)			達成率(%)	94	83		
成果 面			目標値				
	算出根拠等		達成率(%)				
成果 面			目標値				
	算出根拠等		達成率(%)				
成果 面			目標値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補 足			目標値				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 民間(観光関係団体等)が運営可能な体制づくりについて検討する必要がある。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 民間(観光関係団体等)と協力・引継ぎをしながら運営体制を作る。 	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 野麦峠は、高根地域の主要な観光ポイントであると同時に、高山市街地への誘客効果も期待できるため、観光客の増加を図るために有効な事業である。地域全体の機運もあがっており、今後も野麦峠まつりなどの関連事業を引き続き行っていく必要がある。 平成27年度以降、工女衣裳の維持管理に必要な経費を除き、市の助成なしでやっていけるよう、飛騨高根観光協会へ引き継いでいく。
	○ 縮小	
二次 評 価	<ul style="list-style-type: none"> 民間(観光関係団体等)主体への移行について検討する必要がある。 特例期間終了を見据え、地域への波及効果などの分析を行いつつ、行政の関与を段階的に縮小していく必要がある。 	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	863	300	300	300	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,813	664	719	719	
	受益者	4/1現在高根町住民	(B)	476	452	417	417

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	野麦峠交流促進事業 ・野麦峠まつり ・旧野麦街道(歴史街道系引きの道)ツアー	要 求 の ポ イ ン ト	<ul style="list-style-type: none"> 姉妹都市である松本市と野麦峠まつりを合同開催 野麦峠の誘客に結びつける旧野麦峠街道ツアー 	事 業 実 施 の 課 題	支 所	<ul style="list-style-type: none"> 松本市との合同開催にあたっての協議、調整と、工女役等の確保。 ツアー客から意見聴取後の翌年度以降の対応の検討。 	観 光 課	持続可能な事業となるよう運営主体の強化を図ること。
					地 域 政 策 課	事業者が自主的に運営可能となるような仕組みづくりが必要である。		

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		300	300	0	300	300	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0				
	県支出金	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	一般財源	300	300	0	300	300		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62399	地域観光施設事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 積極的な観光振興策を実施します ◎最新の媒体を駆使し、多様な誘客を行います。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
番付				款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	高根支所 地域振興課		内線	項	2	観光費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円			
		3710	目	2	観光施設費	D	その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	どうしたい のか (意図)	・野麦峠の観光施設について、特に危険性のある個所や利用者からの不満が多い個所について改善していくことで、観光客の満足度をアップさせ、誘客に結び付ける。	概要	事業の実施 手法(手段)	・野麦峠東屋修繕、野麦峠の館トイレの洋式化
	対象者数	417 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	なし						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	修繕個所	個所	目標値			2	11
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
成果 指標	野麦峠観光客数	人	目標値	25,000	25,000	25,000	25,000
			実績値	23,385	20,705		
	算出根拠等	野麦峠年間入込客数(観光動態調査)	達成率(%)	94	83		
成果 面			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況		
次 年 度 の 実 施 方 針	担当課 評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	二次 評 価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	0	1,300	6,912
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	0	0	52	276
	受益者	野麦峠観光客	(B)	23,385	20,705	25,000

5 予算編成(Action2)

事業 内容	・観光施設修繕・整備	要 求 の ポ イ ン ト	事業 実 施 の 課 題	支 所	施設の老朽化に伴い、危険個所や維持管理に影響を及ぼす施設を多数抱えている。早急に修繕・撤去などの整備が必要である。	観 光 課	特に緊急性、必要性のあるものについて優先的に実施していくこと。
						地 域 政 策 課	実施による効果を検証するとともに、施設の利用者増に取り組む必要がある。

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,300	6,912	5,612	5,400	5,400	・積算内容を精査 ・施設整備に係る費用は観光施設運営事業費で実施	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	1,300	6,912	5,612	5,400	5,400		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62499	地域自然公園等管理事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	積極的な観光振興策を実施します ① ◎新たな観光資源を発掘し活用します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を 新たな観光資源として積極的に活用します。
	課			6	商工費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	高根支所 基盤産業課	内線	3742	項	2	観光費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円		
				目	4	自然公園費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	登山道利用者	どうしたい のか (意図)	・乗鞍登山道のうち、子ノ原及び阿多野郷ルートの草刈等整備を実施し、登山道を地域資源として活用し、地域の活性化を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・シルバー人材センターへの委託
	対象者数	未確定 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・子ノ原及び阿多野郷からの登山道の草刈(登山道入り口より8km)						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	草刈等実施の延長	km	目標値		8	9	10
			実績値		8		
	算出根拠等	図上	達成率(%)		100		
成果 指標	登山道利用者数	人	目標値		20	30	50
			実績値		18		
	算出根拠等	問い合わせ電話等による推計	達成率(%)		90		
成果 面			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足	・登山客の実績については、入山者を把握することが困難であることから、キャンプ場管理者等の聞き取り及び支所への問い合わせ電話等から推計している。						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・キャンプ場管理者等において、ある程度の登山客数把握が必要である。また、毎年継続して実施していくことが登山者の増加につながるものとする。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・昨年に引き続き、乗鞍登山道の草刈等を実施する。また、新たに御岳登山道の草刈も実施する。 ・登山客の把握については、キャンプ場管理者と協議を進めるとともに、利用者への便宜を図るため、看板等を設置する。	
次年度 の実施 方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・地域振興及び利用者の利便性や安全性の確保の観点から、引き続き継続していく。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、登山道整備(全体)の方針について検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	448	600	766
	受益者1件当たり(円)	(A/B)		24,889	20,000	15,320
	受益者	登山道利用者	(B)	0	18	30

5 予算編成(Action2)

事業内容	乗鞍・御岳登山道の草刈り、補修	要求の ポイント	著しく通行に支障をきたしている区間について補修を行う。	事業 実施 の 課題	支所 地域振興予算が終了しても、毎年ある程度の修繕、草刈は必要である。	環 境 政 策 推 進 課	地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。
					地 域 政 策 課		同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,000	766	△ 234	0	0	・計画に掲載されていない事業であることや平成23年度・平成24年度と2年間実施してきたことを踏まえ、平成25年度は見送り	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,000	766	△ 234	0	0		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72299	住みよい地域づくり事業	内線	予 算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公 約	6	市民の生活と生命・財産を守ります。 ・支所地域と市街地を結ぶ主要道路の整備や都市計画道路の整備を進めます。
	款				7	土木費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	高根支所 基盤産業課	3741	項	2	道路橋りょう費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	○	D	その他事業	H25計画額	500	千円		
			目	2	道路橋りょう維持費										

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び観光客	どうしたいのか (意図)	・集落間を結ぶ市道の除草等により、市民及び観光客等の通行の安全確保を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・シルバー人材センターへの委託
	対象者数	417					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・市道 5路線 8.5km の草刈及び清掃							
活動 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	実施路線数	路線		目標値	3	5	5	5
成果 指標	算出根拠等 仕様書			実績値	3	5		
				達成率(%)	100	100		
成果 指標	実施延長		m	目標値	7,000	8,500	8,500	8,500
	算出根拠等 仕様書(市道台帳より)			実績値	7,000	8,500		
成果 指標				達成率(%)	100	100		
	算出根拠等			目標値				
成果 指標				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
成果 指標				目標値				
	算出根拠等			実績値				
成果 指標				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
補 足				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・これまで各地域ごとに草刈等してきたが、高齢化により実施が難しい地域が増加しており、今後益々シルバー人材センター等への依存が高くなることが予測される。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・地域の需要に応え、安全安心な生活道路を確保するため、前年同様継続していく。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・地域の需要を考慮しつつ、当面現状で継続していく。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・地域の景観、環境を保全するため実施しているが、特例期間終了後は、全市的に実施路線を検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	229	462	600	600
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	481	1,022	1,439	1,439
	受益者	4/1現在高根町住民	(B)	476	452	417

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	市道沿道の草刈り清掃	要 求 の ポ イ ン ト	支 所	・過疎化、高齢化により、これまで各地域住民が行ってきた草刈清掃業務が、年々困難となってきている。	維 持 課	地域間を結ぶ市道であり距離も長い為、地域住民だけでは対応できない。交通安全や景観保全のため業務を委託する。
						地 域 政 策 課

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		600	600	0	600	600	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	600	600	0	600	600		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95299	地域体育施設維持管理事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	高地トレーニングエリアの誘客宣伝及び雇用促進
種別				款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	高根支所 地域振興課			項	5	保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業				
	内線 3710			目	2	体育施設費		D	その他事業				
								H25計画額		千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	飛騨高山御嶽トレーニング利用者	どうしたいのか(意図)	・高地トレーニング強化拠点施設として、夜間もグラウンド(を利用できることで利用者の増を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・飛騨高山御嶽トレーニングセンターのグラウンド夜間照明施設の維持管理
	対象者数	2,300 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・案内看板の設置 ・夜間照明施設						
活動指標	看板の設置	基	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	算出根拠等		目標値		10	5	0
活動指標	夜間照明の設置	基	実績値		10		
	算出根拠等		達成率(%)		100		
成果指標	飛騨高山御嶽トレーニングセンターの利用者	人	目標値	1,000	2,000	2,200	2,300
	算出根拠等		実績値	1,474	2,208		
成果指標	飛騨高山御嶽トレーニングエリア合宿利用者	人	目標値			19,000	19,200
	算出根拠等		実績値	16,679	17,584		
補足			目標値				
	算出根拠等		実績値				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・グラウンド(夜間照明施設)の利用者を増やす必要がある。
-----------------	------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・地域体育施設を結ぶ公道を走る利用者の安全確保を図るため、ランナー注意看板を設置する。 ・夜間電気使用料の検討を所管課において検討する。						
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>維持・改善</td> <td rowspan="2">・夜間電気使用料について条例化された後は、夜間も屋外でトレーニングができることを誘客材料にも活用し、夜間照明の維持管理を行う。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td rowspan="2">・ランナーが安全に利用できるよう施設の維持管理を行うとともに、利用者増の方策について検討する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> </tr> </table>	維持・改善	・夜間電気使用料について条例化された後は、夜間も屋外でトレーニングができることを誘客材料にも活用し、夜間照明の維持管理を行う。	拡大	縮小	・ランナーが安全に利用できるよう施設の維持管理を行うとともに、利用者増の方策について検討する必要がある。	廃止検討
維持・改善	・夜間電気使用料について条例化された後は、夜間も屋外でトレーニングができることを誘客材料にも活用し、夜間照明の維持管理を行う。						
拡大							
縮小	・ランナーが安全に利用できるよう施設の維持管理を行うとともに、利用者増の方策について検討する必要がある。						
廃止検討							

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	0	3,621	800
	受益者1件当たり(円)	(A/B)		1,639	363
	受益者	飛騨高山御嶽トレーニング利用者	(B)	0	2,208
				2,200	2,300

5 予算編成(Action2)

事業内容	・飛騨高山御嶽トレーニングセンターのグラウンド(夜間照明施設)の維持管理	要求のポイント	事業実施の課題	支所	・夜間利用できることの宣伝と活用	スポーツ推進課	当事業の実施により、地域のスポーツ活動やコミュニティ活動が促進され、地域振興が図られる。
						地域政策課	施設の活用を地域振興につなげるため、集客力を高める取り組みが必要。

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	800	150	△ 650	150	150	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	800	150	△ 650	150	150		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域振興助成事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	「合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。」 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り 合って取り組む活動に支援します。
				款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	高根支所 地域振興課			項	1	総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業				
	内線 3710			目	9	企画費		D	その他事業				
								H25計画額	2,500 千円				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根地域住民	どうしたい のか (意図)	・地域住民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進するため、市民自らが主体となって取組む 地域振興事業を支援する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・地域の住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくりへの補助
	対象者数	417 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・美化運動事業(3件)、高トレ誘客宣伝事業、日和田石仏環境整備事業、古道整備事業、史跡保存事業、エンパワーメント事業、高根町火畑そばまつり 事業、ミナモ雪像づくり事業、アンテナショップ運営事業						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	地域振興事業補助金採択件数	件	目標値	10	10	10	10
			実績値	10	11		
	算出根拠等		達成率(%)	100	110		
成果 指標	地域振興事業補助金実績額	千円	目標値	2,000	2,000	2,500	2,500
			実績値	1,967	1,786		
	算出根拠等		達成率(%)	98	89		
成果 面			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・将来的に補助できないものについては、その旨を団体に説明しなければならない。又、内容によっては一般予算の助成制度に該当 する事業に見直すなど調整が必要である。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・将来的に補助できないものについては、その旨を地元へ説明しながら徐々に補助額を減額していく。また、一般予算の補助制度等 に該当する事業内容に見直しが可能かどうかについて団体に、助成制度を説明していく。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善	・新規事業については、特別予算終了前に完結、あるいは終了後は補助なしで継続できるよう協議しながら実施する。 ・継続事業については、事業内容等の見直しにより、他の補助制度等に移行可能な事業は移行するとともに、移行困難な事業につ いては、事業規模の縮小を協議しながら継続する。
	○ 維持・改善	
	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応について検討する必要がある。	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,967	1,786	2,500	2,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,132	3,951	5,995	5,995
	受益者	高根地域住民(4/1現在)	(B)	476	452	417

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	・地域住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業に対する 助成	要 求 の ポ イ ン ト	事 業 実 施 の 課 題	支 所	地 域 政 策 課	地 域 政 策 課
--------------	---	---------------------------------	---------------------------------	--------	-----------------------	-----------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,500	2,500	0	2,500	2,500	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
地域振興事業特別予算	2,500	2,500	0	2,500	2,500		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域要望対応事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	「合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。」 ・地域の個性あるまちづくりと、地域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動に支援します。
種別				款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	高根支所 地域振興課	内線	3710	項	1	総務管理費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	2,500	千円	
				目	9	企画費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根地域住民	どうしたい のか (意図)	・市有施設で地域からの要望に即応するもの	概要	事業の実施 手法(手段)	・市道、農道、水路等の公共施設の軽微な修繕
	対象者数	417 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・排水路修繕、用水路修繕、用水路取水口修繕、転落防止柵修繕、街路灯修繕、冬季高齢者住宅浄化槽修繕、バス停修繕							
活動 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	地域要望対応事業採択件数		件	目標値	11	7	10	10
算出根拠等		実績値		11	7			
算出根拠等		達成率(%)		100	100			
成果 指標	地域要望対応事業実績額		千円	目標値	2,500	2,500	4,000	5,017
	算出根拠等		実績値		2,196	2,025		
算出根拠等		達成率(%)		88	81			
成果 面				目標値				
	算出根拠等		実績値					
算出根拠等		達成率(%)						
補 足				目標値				
	算出根拠等		実績値					
算出根拠等		達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・引き続き実施する。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・引き続き実施する。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応について検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,196	2,025	4,000	5,017
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,613	4,480	9,592	12,031
	受益者	高根地域住民(4/1現在)	(B)	476	452	417

5 予算編成(Action2)

事業内容	・公共施設等の軽微な修繕	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	支 所	地 域 政 策 課	地 域 政 策 課
------	--------------	-------------	---------------------	--------	-----------------------	-----------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	4,000	5,017	1,017	3,900	3,900	・配分額の調整	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	4,000	5,017	1,017	3,900	3,900		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21100	土地借上料	予算	会計	9	簡易水道事業特別会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市 長 公 約	6	市民の生活と生命いのち・財産を守ります。 ・安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。	
種別				款	2	総務費		○	B					一般予算の上乗せとして実施されている事業
担当課	高根支所 基盤産業課			項	1	総務管理費			C					終期を定めて実施する事業・単年度事業
	内線 3741			目	1	一般管理費			D					その他事業
											H25計画額	千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	簡易水道施設地主	どうしたい のか (意図)	・水道施設用地の借上料	概要	事業の実施 手法(手段)	・市の基準を上回る土地賃貸借
	対象者数	14 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・高根町地内 8施設 土地所有者 14名 246千円						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	土地賃貸契約者数	人	目標値	14	14	14	5
成果指標	算出根拠等	契約書	実績値	14	14		
	達成率(%)		100	100			
成果指標	給水人口	人	目標値	476	452	417	387
	算出根拠等	給水人口調べ	実績値	456	425		
成果指標	達成率(%)		96	94			
	算出根拠等						
成果指標	目標値						
	実績値						
成果指標	達成率(%)						
	算出根拠等						
成果指標	目標値						
	実績値						
成果指標	達成率(%)						
	算出根拠等						
補足	目標値						
	実績値						
補足	達成率(%)						
	算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・市の基準に近づくよう単価交渉を継続する必要がある。
---------------------	----------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・次年度契約に当たり、所有者と交渉をする。	
次年度 の実施 方針	○ 維持・改善	・土地賃借料が市の基準となるよう所有者との単価交渉を継続的に進めた結果、基準外の土地所有者は減少してきた。 今後も安心安全な水の供給のため、引き続き交渉を継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評価	○ 維持・改善	・市の基準に近づくよう単価交渉を継続する必要がある。
	拡大	
	○ 縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	246	206	152	152
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	17,571	25,750	30,400	30,400
	受益者	土地所有者	(B)	14	8	5

5 予算編成(Action2)

事業内容	・土地借上料	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支 所	・市の基準に近づくよう単価交渉の継続が必要	上 水 道 課	・水道施設が存在している以上、賃借を継続する必要があるが、市の基準を上回る価格で借り受けている土地については、契約更新の際、市の基準に引き下げてもらおう交渉していく必要がある。
						地 域 政 策 課	・地域振興特別予算措置期間に基準内の借地料となるよう交渉が必要である。

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	152	152	0	152	152	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	152	152	0	152	152		